



報道機関 各位

情報活用講座「健康を決める力～医療情報を入手・理解・ 評価・活用するために」を開催します

「体の具合が悪い」「家族が病気を宣告された」「健康診断で要受診になった」ときに、本やインターネットで病気を調べる方が多いと思います。自分の健康にとって適切な情報を得て、よりよい判断をするために、健康教育の第一人者である講師をお迎えして、医療情報のリテラシー講座を開催します。

なお、中央図書館では、2月18日(月)まで、1階入口横で「健康医療情報コーナー」の展示を行っています。

【日時】2月16日(土)午後2時～4時(1時半開場)

【会場】中央図書館みんなのへや(東久留米市中央町2-6-23)

【講師】聖路加国際大学教授の中山和弘氏

【参加費】無料

当日直接会場へ。

詳しくは東久留米市立中央図書館(電話042・475・4646)へ。

■問い合わせ先

図書館長・佐藤 電話042・475・4646

東久留米市企画経営室秘書広報課 佐川
TEL042-470-7712 Fax042-470-7804
E-mail: hishokoho@city.higashikurume.lg.jp

湧水の妖精
るるめちゃん

東久留米市地域資源PRキャラクター



情報活用講座「健康を決める力～医療情報を入手・理解・評価・活用するために」

1. 事業の目的

東久留米市立図書館では、健康医療情報コーナーを整備し、資料提供と司書のレファレンスサービスの活用により、市民の健康や医療の判断を行うための情報提供を行っている。講演会の開催により、健康維持や病気についての情報活用のリテラシー（ヘルスリテラシー）の啓発を行う。

病気や健康に対する情報収集、医師や専門家から得る情報の理解、情報を収集し理解した上で適切な判断を行う力（ヘルスリテラシー）によって、治療や生活の質に大きな差が生じることとなる。社会教育機関においても、ヘルスリテラシーの啓発事業を行う意義がある。

義務教育年代からのヘルスリテラシー教育の必要性も言われており、インターネットになじみのない情報弱者といわれる市民、啓発事業を行う医療・看護関係者に加え、子育て世代を対象とする。

2. 講師紹介

講師 中山 和弘 氏（聖路加国際大学教授/看護情報学）

（聖路加国際大学ウェブサイトより）

専門は保健医療社会学、看護情報学です。ヘルスリテラシー（健康を決める力）、意思決定支援、ヘルスコミュニケーション、ポジティブコーピング、これらを支えあうサポートネットワークやコミュニティ、ソーシャルキャピタルづくりなどをテーマとしています。市民・患者や医療者を対象とした調査を通して、市民・患者や医療者の視点から、その生活する世界に注目し、情報に基づいた意思決定ができていくかどうか、それを阻んでいるものは何か、必要な支援が受けられているか、その支援はどのようなものかを明らかにしようとしています。看護情報学とは、対象の適切な情報の入手、理解、評価、活用（意思決定や行動）をケアする領域ととらえています。

参考：

「毎日新聞」コラム「健康を決める力」2017年1月から月1回連載中
ウェブサイト「健康を決める力」(<http://www.healthliteracy.jp/>)

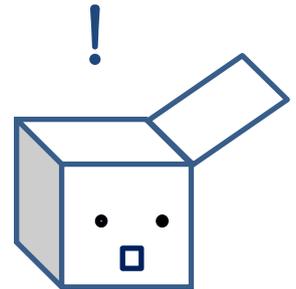


情報活用講座

健康を決める力

～医療情報を入手・理解・評価・活用するために

HEALTH LITERACY



「体の具合が悪い」「家族が病気を宣告された」「健康診断で要受診となった」等…
そんな時、本やインターネットで病気を調べる方が多いと思います。

自分の健康にとって適切な情報を得て、よりよい判断をするために、健康教育の第一人者である講師をお迎えして、医療情報のリテラシー講座を開催します。

- 日 時 2019年2月16日(土) 14:00～16:00
- 場 所 東久留米市立中央図書館1階 みんなのへや
- 講 師 中山和弘氏(聖路加国際大学教授)
- 参加費 無料
- 申込み 不要 当日直接会場へお越しください。

★中央図書館1階入口横で「健康医療情報コーナー」の展示を行っています。(2月18日まで)



【問い合わせ】

東久留米市立中央図書館
東久留米市中央町2-6-23
電 話:042-475-4646
F A X:042-475-6631

ホームページ

<http://www.lib.city.higashikurume.lg.jp>